

自動車アセスメントとは

- 自動車等の安全性能の評価・公表を行うことによって、車に乗る人が安全な車選びをしやすいように、そして車を作るメーカーのより安全な車の開発を促進するために自動車アセスメント※事業を平成7年度より実施
- (独)自動車事故対策機構が、市販されている自動車を対象に、衝突時の乗員の被害軽減性能、予防安全性能等の比較試験を行い、その結果を公表

※ 自動車アセスメントの一環として、「チャイルドシート」の安全性能比較試験(前面衝突試験、使用性評価試験)も実施

試験の実施

直近1年間の販売実績が上位の車種や自動車メーカーから希望のあった車種について、衝突試験、歩行者頭部保護性能試験等のさまざまな安全性能評価試験を実施

<衝突安全性能評価>

(平成7年度～)

○フルラップ[®]前面衝突試験



○オフセット前面衝突試験



○側面衝突試験



○後面衝突頸部保護性能試験



○歩行者頭部保護性能試験



○歩行者脚部保護性能試験



<予防安全性能評価>

(平成26年度～)

○被害軽減ブレーキ(対歩行者)



H28年度
評価追加

横断中の歩行者を検知し、自動でブレーキ操作を行うシステムについて、衝突の回避あるいは減速量に応じて評価

○被害軽減ブレーキ(対車両)



○車線はみ出し警報



○後方視界情報(バックビューモニター)



結果の公表

パンフレットやホームページにおいて、★の数など、わかりやすい形で、評価結果を公表



○予防安全性能評価のイメージ

メーカー		車種名	
被害軽減ブレーキ	対歩行者 検出時	対歩行者 検出時	発売年月:2016年7月～
Point	32.0/32.0	Point	24.5/25.0
はみ出し警報	検出時	検出時	60km/h～
Point	8.0/8.0	Point	6.0/6.0
後方視界情報	検出時	検出時	
Point	6.0/6.0	Point	6.0/6.0
		ASV++	
		70.5/71.0	